



福県医発第1053号(地)
平成15年9月1日



各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 関原 敬次郎



ツ反、BCGの接種歴がない児に対する日本医師会の見解について

初秋の候、貴職ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます

さて、今年度より学校における結核健診の改正に伴ない、小学校、中学校におけるツ反、BCGが廃止され、結核を疑わせる症状等に関する問診ならびに内科検診を充実することにより結核の可能性のある者を見つけ出し、対象者は当該地の結核対策委員会で適切に対処していく方式に変更になりました。

そこで「小学校入学までに一度もツ反、BCGの接種歴がない児について、どのように対応すべきか」 8月22日の県医師会における第1回各医師会乳幼児保健担当理事者会において質問がありました。日本医師会の雪下担当理事に見解を伺いましたので、ご報告致します。

記

学校における結核に関する問診票の質問6及び補問6-1【このお子さまは、いままでBCGの接種(スタンプ式の予防接種)をうけたことがありますか?】の設問にいいえと答えた方は、当該地の結核対策委員会での検討を要する者としてあげていただき、ツ反、BCGの接種を勧めて下さい。その際、学校保健法により要した費用は公費負担の適応になります。

今年から、小・中学校でのツ反・BCGを廃止したのは、現在の結核罹患状況が低く、効率が良くない手法となっているため、ツ反・BCGの有効性まで否定するものではないので、未接種者へは接種を勧めていただきたいとのコメントがありました。

つきましては、該当者がありましたら貴職より各学校医へ、上記に留意され対応していただくようご配慮いただきますようお願い申し上げます。

なお、本件につきまして、本会担当理事より各医師会乳幼児保健担当理事へはご報告いたしております。